# 平成29年度　事務事業評価シート（詳細）

※平成28年度に実施した事業を評価しています

## 基本情報

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | エコストア・エコオフィス認定制度 | | | | | | | | | |
| 担当部署 | 環境部 | | 資源循環推進課 | | | | | | 事業コード | 12 |
| 所属長 | 飯野　英一 | | | | | | | | 事業区分 | ソフト事業 |
| 予算事業名 | ごみ減量等推進 | | | | | | | | 新規・継続 | 継続 |
| 予算事業コード | 会計 | 10 | 款 | 04 | 項 | 02 | 目 | 01 | 事業開始年度 | 平成10年1月 |

## 1．事業の位置付け、関連事業及び法令による実施義務等（Plan）

第四次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 基本目標(章) | | | 法令による実施義務 | 義務ではない |
| 施策 | | | 根拠となる法令 | なし |
| 取組施策 | | | その他実施根拠（条例、要綱等） | エコストア等認定制度実施要綱 |
| 関連事業 | なし | | | |

## 2．事業の目的と概要（Plan）

| | |
|---|---|
| 実施主体 | 市実施（直営） |
| 対象（誰・何を対象に） | 市内に店舗、事務所又は事業所を有する事業者 |
| 目的（対象をどのようにしたいか） | 事業活動においてごみの減量化・資源化等、環境に配慮した活動を行っている事業者を、エコストア・エコオフィス等として認定することにより、顧客に対して環境にやさしい生活活動へ誘導し、資源の循環型社会の構築及び地球環境の保全を図る。 |
| 事業の概要（活動内容、実施手段・方法など） | 事業活動においてごみの減量化・資源化等、環境に配慮した活動を行っている事業者を、エコストア・エコオフィス等として認定し、ホームページ等でPRすることにより、市民に環境に配慮した事業者を利用してもらい、環境にやさしい活動の推進を図る。 |

## 3．前年度に立てた計画（Plan）

従前どおり、エコストア・エコオフィス認定制度を継続する。

## 4．取組実績（Do）

平成28年度は、年度当初182件あったエコストア等が、閉店等により7件減少し175件になりました。
なお、エコストア1件がゴールドエコストアに昇格しました。

## 5．実施にかかるコスト（Do）

（単位:千円）

⑴　支出の部

| | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度(見込額) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 人件費　A | 734 | 735 | 747 | 374 | |
| 正規職員（1年間の従事人数） | 0.10人 | 0.10人 | 0.10人 | 0.05人 | |
| 臨時職員（1年間の従事人数） | 0.00人 | 0.00人 | 0.00人 | 0.00人 | |
| 事業費　B | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 総支出（A＋B） | 734 | 735 | 747 | 374 | |

⑵　収入の部

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 使用料・手数料 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他特定財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 734 | 735 | 747 | 374 | |
| 総収入 | 734 | 735 | 747 | 374 | |

## 6．指標による分析（Check）

### (1) 活動指標

| 評価指標 | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度（予定） | 単位当たり費用（下段は前年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 広報記事掲載回数 | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 | 747.00 |
| 指標の定義・説明 | 広報記事の掲載による周知・啓発 | | | | | 735.00 |
| | | | | | | #DIV/0! |
| 指標の定義・説明 | | | | | | #DIV/0! |

### (2) 成果指標

| 評価指標 | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度目標値 | 将来目標値 | 単位当たり費用（下段は前年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| エコストア認定件数 | 件 | 107 | 101 | (目標) 101<br>(実績) 97 | 97 | 年度 | 7.70 |
| 指標の定義・説明 | エコストア・ゴールドエコストアに認定した店舗数 | | | | | | 7.28 |
| エコオフィス認定件数 | 件 | 85 | 81 | (目標) 81<br>(実績) 78 | 78 | 年度 | 9.58 |
| 指標の定義・説明 | エコオフィス・ゴールドエコオフィスに認定した事業所数 | | | | | | 9.07 |

## 7．評価（Check）

| 項目 | 評価 | 評価コメント及び課題等 |
|---|---|---|
| 必要性 | | 市が関与することが妥当であるか、時代の潮流や市民ニーズに対して目的や内容が合っているか |
| | B | 民間では実施していない<br>新規の申請はほとんどない |
| 有効性 | | 施策の目標の達成に貢献しているか |
| | B | 総合計画上の位置付けはない |
| 達成度 | | 設定した活動・成果指標の目標を達成しているか |
| | B | 成果指標の目標を達成していない |
| 効率性 | | 民間委託や指定管理者制度の導入は可能か、コスト削減の余地はあるか、受益と負担（補助）の適正化が図られているか |
| | A | 事業費なし<br>契約行為なし |
| 総合評価 | C | 必要性、有効性及び達成度がB評価であり、事業の見直しが必要と考えます。 |

## 8．今後の方向性及び今後の取組（改善策など）（Action）

| 今後の方向性 | 改善 |
|---|---|
| 29年度 | 現在175件の認定事業者が存在することから、事業については継続します。<br>他市においても制度の普及が進んでいないことから、今後の事業の取り扱いについて検討します。また、認定事業者の意向を把握するため、アンケート調査の実施について検討します。 |
| 30年度 | 平成29年度の検討状況を踏まえて対応します。 |

【参考】

### (1) 比較参考値（他市での類似事業の例など）

他市でも同様の取り組みを行っている。他市においても普及が進んでいない状況です。

### (2) これまでの見直しや改善等の経過

事業者を対象としたごみ処理の研修会において、制度のPRを行っている。